

とっくりがま



発行：放送大学山口学習センター 2024 年 10 月発行 第 108 号

— 目次 —

■『無理をしない社会構造の変化』山口学習センター客員教員 阿部 新	1
■『謝辞』 学生 卒業生代表 中嶋 愛子	3
■卒業生のメッセージ	4
■事務室からのお知らせ	6
■10 月 ～ 12 月のスケジュール	11



< 機関紙「とっくりがま」の由来 >

明治 14 年、小野田セメント製造会社（現・太平洋セメント株式会社）が創立され、明治 16 年から焼成炉 4 基の窯によって生産が始まりました。高さ 9.6 m、煉瓦を積み上げて作った立窯で、徳利に似ていることから「徳利窯」と呼ばれるようになりました。日本近代の洋式セメント製造法を伝える唯一の遺構で、重要文化財に指定されています。

山口学習センターが生涯学習の中核として、ますます発展することを願い、この「徳利窯」にあやかり、機関紙名を『とっくりがま』と命名しました。



〒753-0841 山口市吉田 1677-1
(山口大学吉田キャンパス大学会館 1F)

T E L : 083-928-2501

F A X : 083-928-2503

E - m a i l : yamasc35@ouj.ac.jp

ウェブサイト: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/>



学習センターの利用時間

◆ 9:00～17:30

2024 年 10～12 月の閉所日

◆ 毎週月曜日、祝日

◆ 特別閉所日: 10 月 27 日(日)

◆ 年末閉所日: 12 月 29 日(日)～31 日(火)

『無理をしない社会構造の変化』

山口学習センター客員教員 阿部 新



今夏も日差しの強い日々が続きました。昼間は熱中症警戒アラートというものが連日のニュース、天気予報で報じられ、高校野球などの真夏のスポーツや、暑さを凌ぐはずの海水浴も配慮が必要となり、私たちのこれまでの夏の過ごし方を変えざるを得ない事態となっております。

ご存じの通り、地球温暖化（気候変動）の原因として、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が問題視されております。これだけ暑ければ、私たちは地球温暖化を防ぐために、日々の行動を改めてもおかしくはないです。無理をすることはよくありませんが、例えばガソリンや電力、シャワーを過剰に使っているのであれば、それを抑えることがわれわれのできる地球温暖化対策になります。

これらの節制は、多くの方が日常的に自然に行っているはずです。私たちは長年それが身についておりますし、また過剰な使用はそれぞれの料金に跳ね返ってくるからです。ただし、地球温暖化を意識してシャワーの過剰使用をやめようという気持ちになっているかという、そこまでの気持ちはないというのが実態ではないでしょうか。

この原因は、自らの消費行動と地球温暖化がどうしても結びつかないということがあるでしょう。また、自分が対策をしたところでどれだけの効果があるかということもわかりにくいです。そもそも温室効果ガスがこの猛暑の原因ではないと考える人もいるかもしれません。私たちは被害を感じておりますが、加害の認識は薄いように思います。かといって企業や政府を訴えることもしません。単なる自然現象として受け入れているように見えます。

最近、サーキュラーエコノミー（循環経済）という言葉が飛び交っております。これは欧州から発信されているもので、廃棄物を発生させない社会を目指し、リサイクルやリユース、シェアリングなどの市場の拡大を通して全体を活性化させる新しい経済の考え方と言われております。そして、これは経済政策であって、これまでの 3R（リデュース、リユース、リサイクル）や循環型社会のような環境政策とは異なったものなどの言及もされます。

このサーキュラーエコノミーの流れの中で、企業はリサイクルを促進し、再生資源（資源ごみ）を積極的に利用するようになっていっているとされております。その背景には脱炭素があると考えられます。脱炭素は、主として大企業が事業評価の観点から重視するもののように思われますが、近年は、その取引先の取り組みまでも評価の対象になっており、中小企業も脱炭素に取り組むようになってきております。

製品については生産から廃棄までのライフサイクル全体の温室効果ガスの排出量が計算され、環境

負荷の低い製品が評価されます。鉱物資源よりも再生資源を利用したほうが温室効果ガスの排出量が少ない場合があります、メーカーは脱炭素を加味して多少コストがかかっても再生資源を利用することが考えられます。原油価格の高騰の影響もありますが、現在、状態の良い使用済みペットボトルは市場で取り合いになっております。日本では使用済みペットボトルから新品ペットボトルへの水平リサイクルが話題になっております。

このような再生資源（資源ごみ）を丁寧に分別して供給しているのが私たち消費者です。私たちはサーキュラーエコノミーが言われるずっと前から資源ごみの分別をまじめに行っております。分別をせずにごみを散らかすことは環境にとって良くないという意識がある程度あるはずですが、慣れればたいした負担でもないし、敢えて自治体が定める分別ルールに逆らう理由もありません。一方で、脱炭素に繋がると思って資源ごみを分別しているかというところまでの意識はなさそうです。



技術が発達し、使用済みペットボトルから新品ペットボトルへの水平リサイクルが可能になってきました。それは脱炭素に貢献するものの、使い捨て構造そのものを変えるものではないです。生産から廃棄までのライフサイクルにおいて温室効果ガスは排出されますが、使い捨てを控えてそのサイクルの回数を減らす必要もあるかと思えます。サイクルの回数は企業の製品の評価に組み込まれていないのか、企業側から大々的に使い捨て構造を変える動きは観察されません。そうすると、私たち消費者の役割が重要になってきます。

例えば、ペットボトルの飲料を控え、水筒を利用するなどがあります。近年は水筒の技術も発達し、軽くて持ち運びがよくなりました。ボトルの外面に水滴がつくこともなく、温度も保たれ、水筒のほうが望ましいとさえ思うことがあります。このような技術の発達により、私たちの環境意識は高くななくても、自然と使い捨て構造が変わってくのかもしれませんが、気づけば私たちは自然とエコバックを持参し、レジ袋を控えるようになりました。慣れてしまえばたいした負担ではないとわかったからです。それは結果的にサーキュラーエコノミーであって、脱炭素に繋がる行動です。そういう無理をしない社会構造の変化はこれからも起こることが予想されます。

尤も、このようなサイクルを緩める動きは環境問題に限りません。世界中で働き方改革が進み、無理をしないことが生産性を向上させる、という考え方が広まっております。効率性を追求しすぎて、ミスが多発し、経営が持続しないことがあります。そういった行き過ぎた効率化に対する揺り戻しが現在起こりつつあるように思います。

『謝辞』

卒業生代表 教養学部 社会と産業コース 中嶋 愛子

本日は教職員の皆様、ご来賓の皆様のご臨席の下、このように心温まる卒業式を挙行していただき、誠にありがとうございます。皆様のご支援のもと、本日無事卒業を迎えることができました。卒業生一同、心より心より御礼申し上げます。

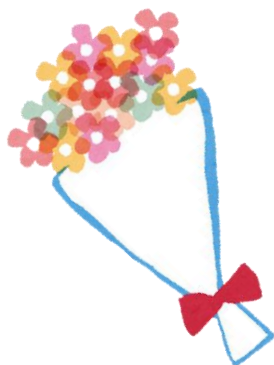
私は短大卒ではありましたが、以前より四年制大学を卒業したいと思っておりました。仕事や家事に追われ、なかなかその夢に挑戦できない中、本学放送大学のことを知りました。放送大学では通学時間や授業時間に縛られることなく、自分の生活の範囲で学べることを知り、入学いたしました。放送大学でなければ仕事や家事と勉強を両立することはできなかったと思います。ここで学ばせていただけたことに感謝しております。

放送大学に入学してからは、まずは自分の興味のある科目を選んで勉強しました。映像教材や教科書を中心に勉強しましたが、一度では理解できず、何度も映像を見直し、教科書にアンダーラインを引きながら学習を進めていきました。単位認定試験の前には久々に朝方まで勉強したこともありました。1科目の取得が終わっても、そこから新たな分野への興味が生まれ、卒業まではあっという間の2年間でした。

放送大学入学時は、四年制大学卒という学位取得が大きな目標でしたが、大学生活を送る中で、学ぶことの楽しさを改めて知ることができました。本日、放送大学は卒業となりますが、この卒業をゴールとするのではなく、生涯学びを楽しんでいくための新たなスタートとしたいと思っております。

最後になりましたが、所長をはじめ放送大学に携わっているすべての皆様方に感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

(令和6年9月29日 学位記授与式)



おめでとうございます

2024 年度第 1 学期は、教養学部 16 名の方が卒業されました。

■ 教養学部

生活と福祉コース… 8 名

心理と教育コース… 3 名

社会と産業コース… 2 名

人間と文化コース… 2 名

自然と環境コース… 1 名



卒業生のメッセージ



【心理と教育コース 60 代】

◇自分が将来勉強したいと思うようになるとは 10 代の私は想像していなかったと思います。働きながら勉強出来る機会を与えてくださったことに感謝します。
卒業しますが、これからも勉強は続けていきます。

【生活と福祉コース 40 代】

◇山口学習センターの皆様、大変お世話になりました。おかげで三度目の卒業が叶いました。
現在 75 歳。コロナ禍以前の学習センターでの単位認定試験を懐かしく思い出しています。
皆に会える喜び、試験に対する緊張感、体で感じる事が出来ました。

【社会と産業コース 70 代】

◇学ぶ事の楽しさを改めて感じました。ありがとうございました。

【生活と福祉コース 40 代】

◇哲学、心理学、天文学など興味のあったものをたくさん学べて楽しかったです。
ありがとうございました。

【人間と文化コース 30 代】

◇学位記授与式、出席できずとても残念でなりません。
一緒に学んだ方々がどんな方だったのか一度お会いしてみたかったです。

【生活と福祉コース 40 代】

◇大変お世話になりました。放送大学のおかげで働きながら大学を卒業することができました。
感謝しております！

【生活と福祉コース 50 代】

◇リベラルアーツ教育（放送大学教養学部）もこれで一段落がつけました。

【自然と環境コース 50 代】

◇在籍 10 年で無事卒業することが出来て嬉しく思います。図書室で学習していた入学当時が懐かしいです。オンライン授業など新たな学習も経験できました。和歌山・川の参詣道（熊野古道）面接授業では宿泊体験もしました。充実した学生生活をありがとうございました。

【生活と福祉コース 50 代】

事務室からのお知らせ

◇ 山口学習センターの利用について

- ・事務室窓口業務 9:00～17:30
- ・図書・視聴学習室 9:30～17:00 放送授業の視聴は16:00までに入室（12:00～13:00は閉室）

※利用時間等が変更となった場合は山口学習センターのウェブサイトおよび掲示板でお知らせします。

◇ 地震・風水害等による臨時閉所について

警報発令地域	発令時刻	警 報 内 容	閉 所	備 考
山口市	7:00	各特別警報 または大雨、洪水、暴風、大雪等のいずれか	14:00 まで	開所後に発令の場合、状況に応じて閉所
	13:00	上記警報発令中	終日	

〔詳細は、「山口学習センター利用の手引き」P2をご参照ください。〕

◇ 客員教員の紹介

6名の客員教員が学習の方法、学習の進め方等の相談や放送授業科目の学習支援等に応じます。また、各専門分野でのゼミや公開講座も開催します。詳細については別紙のご案内をご覧ください。

学習相談をご希望の場合は事前に「学習相談予約票」をご提出ください。

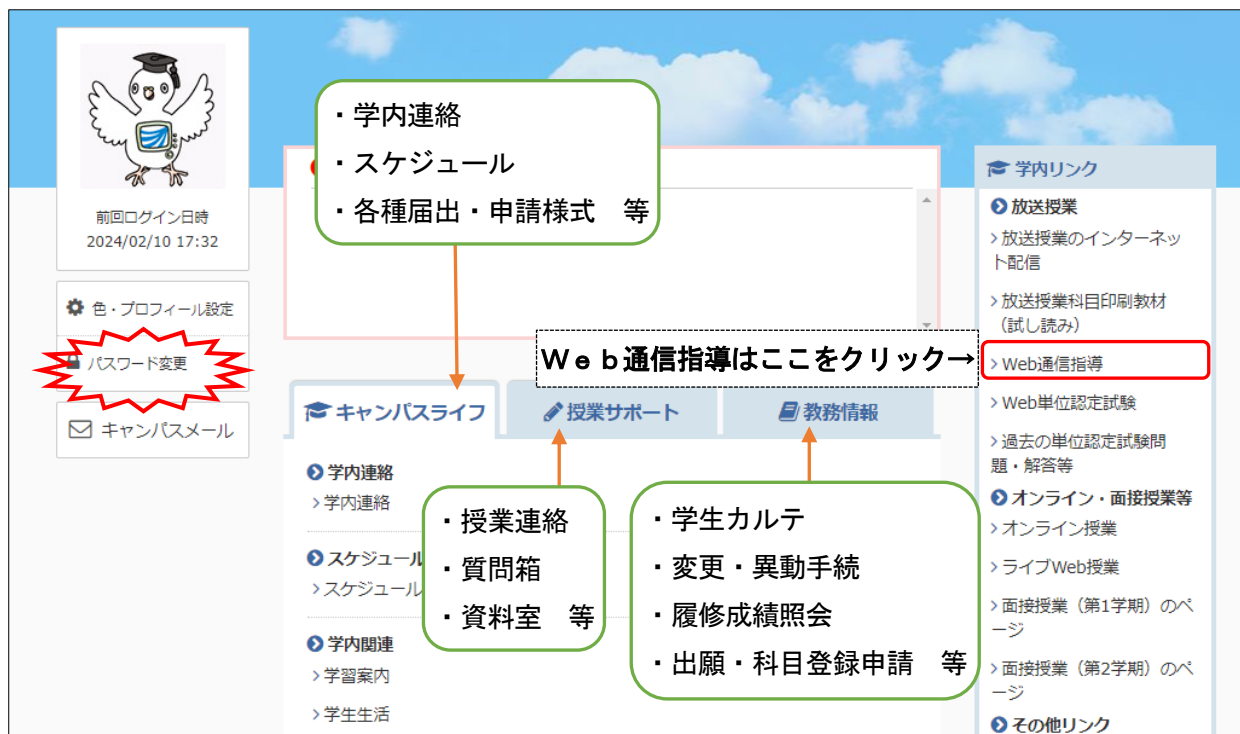
客員教員	専門分野	学習相談日等	
		第1学期	第2学期
 阿部 新 (山口大学・教授)	環境経済学	金曜日 9:30～12:30	
 大石 由起子 (山口県立大学・准教授)	心理学	金曜日 13:30～16:30	
 金谷 匡人 (元山口県文書館・副館長)	歴史学・地域史	日曜日 9:30～12:30	
 千々和 一豊 (山口大学名誉教授)	地質学	水曜日 13:00～16:00	
 西尾 幸一郎 (山口大学・准教授)	住居学	木曜日※ 13:00～16:00	
 野村 厚志 (山口大学・教授)	情報処理学	木曜日 9:30～12:30	

※2学期から西尾幸一郎先生の学習相談日は、火曜日から木曜日に変更となりました。

☆ システムWAKABAについて

重要

システムWAKABA（放送大学教務情報システム）は、**大学からのお知らせ**をはじめ、**放送授業のインターネット配信、通信指導提出**等学習に関する情報を取得できます。



◎ パスワードの変更について

- ◆ **入学生の方…入学許可書が届いたら必ず**パスワードを変更してください。一定期間経過すると初期パスワードは使用できなくなります。

＊ QRコード

＊ <https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>

＊ システムWAKABAログイン後、トップ画面の「パスワード変更」のいずれかから変更操作を行ってください。



- ◆ **在学生の方…**初期パスワードのまま変更されていない場合はシステムWAKABAを利用できません。

利用を再開したい場合やパスワードを忘れてしまった場合は、

＊ 山学学習センターへ**来所**（対面のみ対応）

＊ 学生サポートセンターへ**電話**（TEL：043-276-5111）

＊ 教務課教務係へ**メール**（e-mail：kyomuka@ouj.ac.jp）

のいずれかの方法でご連絡ください。

本人確認の上、**初期パスワード**に設定いたしますので、速やかにシステムWAKABAにログインの上、パスワードの変更を行ってください。なお、**翌朝6時**までにパスワードを変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

◎ 各種変更手続きについて

所属コース、所属センター、住所、氏名等の各種変更手続きおよび休学、復学、退学等の届出については、システムWAKABAで行うことができます。学生生活の葉の巻末にある様式またはシステムWAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードして郵送での提出も可能です。

☆ キャンパスメールを確認してください

キャンパスメールは、Web ブラウザを利用した Gmail です。下記メールアドレスが学生全員に割り振られます。キャンパスメールでは、大学からの修学関連の連絡を受信できます。また、学生から本学への連絡手段としてメールを送信できます。山口学習センターからも、連絡手段としてメールを送信いたします。定期的にキャンパスメールを確認してください。

メールアドレス：

学生番号（ハイフン除く半角 10 桁）@campus.ouj.ac.jp

◎キャンパスメールの利用方法について

1. システム WAKABA にログインしてください。
2. 画面左側の「キャンパスメール」をクリックしてください。
3. Gmail の画面が表示されます。



※キャンパスメールに届いたメールを、普段ご利用の携帯メールアドレスなどへ自動転送する設定方法については、システム WAKABA「キャンパスライフ→附属施設・情報システム」の「キャンパスメールの自動転送設定方法」をご参照ください。

※キャンパスメールは、本学に在籍しなくなると使用できなくなり、送受信の記録はクリアされますのでご留意ください。

☆ 通信指導について

2024 年度第 2 学期より、原則 Web 通信指導による提出（郵送提出科目を除く）となりますので、問題冊子の送付はありません。

通信指導問題は必ず提出期間内に放送大学本部に到着するように提出してください。

答案を提出し、合格しないと単位認定試験を受験することができません。

◎ Web 通信指導による提出が困難な場合

自宅等にインターネットの環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web 指導による提出が困難な場合は、10 月 1 日時点で単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、10 月下旬から 11 月上旬に問題冊子を送付します。

単位認定試験の受験場所を学習センターに変更していない場合、10 月 31 日（日）必着までに「単位認定試験受験場所変更届願」（「学生生活の葉」学部 P69-70 参照）を提出した方には、11 月 下旬 月上旬に問題冊子を送付します。冊子が届かない場合は、大学本部（TEL:043-276-5111）にご連絡ください。

◎ 提出期間

Web 通信指導による提出 （一部科目を除く）	11 月 7 日（木）10:00 ～ 11 月 28 日（木）17:00 ※利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕をもって提出（送信）してください。
郵送による提出※	11 月 14 日（木）～ 11 月 28 日（木）本部必着 ※郵送提出科目、Web 通信指導による提出が困難な場合に限りです。

〔詳細は、「学生生活の葉」学部 P63～P68、大学院 P63～P68 をご参照ください。〕

☆ 学生証について

◆ 入学生の方…『入学許可書』をお持ちください。

本人確認のうえ、学生証をお渡しします。継続入学の方は旧学生証もお持ちください。
新しい学生証と交換します。

※注意 顔写真が未登録の方は発行できませんので、システム WAKABA で直接登録または写真票を大学本部学生課入学・履修係に郵送（発行までに約 2 週間～3 週間）で、手続きを行ってください。

◆ 在学生の方…『有効期限の切れた学生証』をお持ちください。新しい学生証と交換します。

交換は 10 月 1 日（火）以降となります。

有効期限をご確認ください！

令和 6 年 9 月 30 日またはそれ以前になっている場合は更新が必要です。



※氏名等の変更をした場合は学生証の再発行手続きを行ってください。（手数料：500 円）

〔詳細は、「学生生活の葉」学部 P18～P19、大学院 P24～28 をご参照ください。〕

☆ 無線 LAN (Wi-Fi) の利用について

山口学習センターでは、個人のノートパソコン・タブレット・スマートフォンでも授業を視聴することができます。



<利用方法>

- ① 学園が指定する e ラーニングのサイバーセキュリティ研修（システムWAKABA放送大学自己学習サイトの「**情報セキュリティ研修（学生用）**」）を受講して、小テストに合格すると発行される『**修了証**』を印刷するかスマートフォン等の画面に保存します。
- ② 事務室窓口にて『**無線 LAN 利用申請書**』に必要事項を記入して『**修了証**』と一緒に提出します。
- ③ 交付された『**無線 LAN 利用許可書**』に記載の ID 及びパスワードでインターネットに接続します。

※ 在学期間満了や卒業後に再入学した場合は、再度、利用方法の手順を行う必要があります。

※無線 LAN 利用申請書は、システムWAKABA→キャンパスライフ→各種届出・申請様式よりダウンロードできます。

☆ 自分用パソコン持ち込み方式【BYOD 方式の導入】

2024 年度第 1 学期以降、パソコンを使う面接授業は、受講者ご自身にパソコン等を持参して受講していただく方式（※BYOD：BRING YOUR OWN DEVICE の略）になります。これにより、普段使い慣れたご自身のパソコン等で、授業の受講、予習や復習を行うことができます。

BYOD 方式の導入に伴い、現在、山口学習センターの講義室、図書視聴学習室に設置されているパソコンおよびプリンターは、2023(令和 5)年度末をもって廃止となりました。

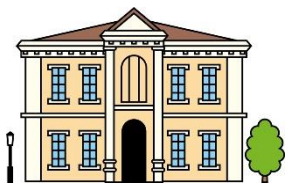
☆ 連携公開講座のご案内

県内各地の自治体や図書館等と連携して公開講座を開催します。どなたでも受講できますので、ご家族やご友人等をお誘いの上、ぜひお申込みください。詳細は山口学習センターウェブサイトをご覧ください。持参したパソコン等については、学習センターで Wi-Fi をご利用できます。利用方法については上記「無線 LAN (Wi-Fi) の利用について」をご参照ください。

開催日	会場	講師	タイトル	定員
10 月 19 日(土) 13:30~15:00	山口県立山口図書館	金谷 匡人	写真で見る山村の暮らし	30
10 月 26 日(土) 10:00~11:30	周南市学び・交流プラザ	大石 由起子	ストレスマネジメントとストレスコーピング (対処)	40
11 月 16 日(土) 13:30~15:00	山口市湯田地域交流センター	西尾 幸一郎	地震図上シミュレーション訓練	30
11 月 30 日(土) 10:30~12:00	下松市ほしらんどくだまつ	阿部 新	廃棄物とリサイクルの経済学	70
12 月 7 日(土) 10:30~12:00	山口市仁保地域交流センター	西尾 幸一郎	災害図上訓練「DIG」	30
1 月 11 日(土) 13:30~15:00	山陽小野田市立中央図書館	杉浦 崇夫	ロコモ予防の運動	30
2 月 16 日(日) 10:30~12:00	山口市秋穂地域交流センター	大石 由起子	子どものこころの発達の理解と支援	20

◇ 美術館キャンパスメンバーズ

山口学習センターは、本年度も県立美術館（山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館）が実施する「美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入しました。加入している機関の学生、教職員が当該美術館の普通展示および企画展示（山口県美術展覧会、山口伝統工芸展を除く）を無料で何度でも鑑賞できる制度です。利用する際は、学生証の提示が必要となります。



学生証を受け取っていない方や有効期限が切れている学生証をお持ちの方は山口学習センターで交付または交換をお願いします。

◇ 機関紙「とっくりがま」について

山口学習センターの機関紙「とっくりがま」は、年4回（4月、7月、10月、1月）発行していますが、2024年度より、4月と10月は紙媒体での発行、郵送しますが、7月と1月はWeb発行のみとなります。

◇ 自動販売機の設置について

ラウンジに自動販売機を設置しましたのでご利用ください。

◇ 学生教育研究災害傷害保険（「学研災」）について

「学研災」は、加入者が在籍する大学の教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とした保険で、全ての種類の学生が加入することができます。

保険金の支払い対象は、面接授業中や学校行事に参加している間、大学が認めた学生団体活動中、その他大学の施設内にいる間に被った事故等です。加入は任意ですが、面接授業の中には加入者を対象とする科目もありますので、**面接授業時間割表の【その他（特記事項）】**をご確認ください。

各学習センターで加入することができますが、保険の効力は加入した日の翌日からとなりますので、ご注意ください。

〔詳細は、「学生生活の葉」学部 P124～P125、大学院 P117～P118 をご参照ください。〕

◇ 心理系の資格取得を目指している方へ～申請の時に慌てないために～

認定心理士の資格取得をするには、日本心理学会に申請する必要があります。申請手続き時に慌てないよう準備をしましょう。放送大学のウェブサイトに入力システムがありますので、ご活用ください。

※履修科目の**シラバス・資料・ノート・レポート**などを保管しておきましょう。

※不足している科目がないか、定期的にチェックしましょう。

10月～12月のスケジュール

(2024年10月1日現在)

天候や災害等に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。

10月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 1日 放送授業開始
- 4日 オンライン授業開始
- 11日 面接授業空席発表 (15:00～)
面接授業科目追加登録事前申請受付開始
(～10月16日13:00)
- 17日 面接授業科目追加登録受付開始
(15:00～1月12日)
- 27日 閉所日 (特別)

【面接授業】

- 12・13日 心理学実験2
- 19・20日 数学の言葉

11月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 3日 閉所日 (文化の日)
- 7日 通信指導受付開始【Web】 (～11月28日)
- 23日 閉所日 (勤労感謝の日)
- 28日 通信指導提出期限【Web】 (～17:00)

【面接授業】

- 9・10日 デッサンと美術表現を知る
- 9・10日 情報工学応用演習・数値実験
- 16・17日 健康づくりのための身体活動
- 30日 カウンセリング入門
- 30日 哺乳類の動きの仕組みを理解する

12月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 29日 閉所日 (年末)
- 30日 閉所日 (年末)
- 31日 閉所日 (年末)

【面接授業】

- 1日 カウンセリング入門
- 1日 哺乳類の動きの仕組みを理解する
- 7・8日 人の行動の見方・考え方
- 7・8日 情報工学応用演習・人工知能
- 14・15日 表計算マクロ言語の基礎
- 21・22日 社会保障制度を考える
- 21・22日 哲学の古典の読み方の基礎を学ぶ

【ライブWeb授業】

- 14・15日 大学生の就職活動とキャリア

閉所日 ○ 面接授業・ライブWeb授業 ○ 学生研修旅行

編集後記

秋の訪れとともに、2学期が始まりました。新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。
放送大学山口学習センターで、充実した時間を過ごしていただけるよう、教職員一同サポートしてまいります。最後に、ご多用の中寄稿をくださった方々には、心より御礼申し上げます。